

### システム開発 メビウス (新潟中央区)

# 工場VRキャラが案内

システム開発のメビウス(新潟中央区)などは、仮想現実(VR)技術とCGキャラクターを組み合わせたバーチャル工場見学コンテンツの制作を進めている。360度視点の静止画をベースに、キャラクターのガイドや動画を交えて製造現場をオンライン上で見て回ることができる。現在は特設サイトで試作コンテンツを公開している。商談や人材採用といった場面の需要を見込み、4月以降の事業開始を目標とする。

## 商談、採用向け活用見込む

来月にも事業化



メビウスが開発したバーチャル工場見学コンテンツ。キャラクターの解説を交えて製造現場を見て回ることができる。

新型コロナウイルス禍の影響で、製造業では観察やインターシッパなどで現場に第三者を受け入れる機会が大幅に減少。感染防止のため非対面・非接触による対応も求められている。

こうした中でメビウスは、臨場感があり、若年層にも浸透する発信手段としてVR技術とキャラクターを組み合わせることを発案。新潟市が展開する「DXプラットフォーム」に参加する企業や専門学校でコンソーシアムを組み、同市の補助も活用してコンテンツの開発を進めてきた。

コンソーシアムはメビウスのほか、3Dコンピュータグラフィックス(CG)制作のファンタジスタ(新潟市中央区)、専門学校2校、金属加工会社3社で構成している。

バーチャル工場見学コンテンツは、工場内を特殊なカメラで撮影して制作した360度視点の静止画に、キャラクターを合成したものである。新潟コンビュータ専門学校(同)のオリジナルキャラクター「笑主しー」を案内役とし、国際映像メディア専門学校(同)の学生が声を担当した。

表示されるマークに沿って進むと、ガイド役の「笑主しー」が各所で、機械のスペースや作業工程を音声を解説してくれる。一部の工程は動画で作業風景を見られる。

現在は、コンテンツの特設サイトでコンソーシアムに参加する3社の工場やオフィスの様子を見ることができ、検証を経て4月以降も図るといふ。

メビウスデジタルトレーニングフォーメーション本部は「製造現場以外でも、企業見学や観光向けのコンテンツとして提案先を広げていきたい」としている。